

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
1. キリスト教科目4科目を開講する。	→ 1. 指標：キリスト教科目4科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		
2. 言語教育科目、外国語科目64科目、留学科目13科目を開講する。	→ 2. 指標：言語教育科目(外国語科目64科目、留学科目13科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		
3. 国際基礎科目、入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目を開講する。	→ 3. 指標：国際基礎科目(入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		
4. 国際専門科目、共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目を開講する。	→ 4. 指標：国際専門科目(共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		
5. 領域関連科目14科目を開講する。	→ 5. 指標：領域関連科目14科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		
6. 英語による授業を80科目開講する。	→ 6. 指標：英語による授業80科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	A	A		



2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」
	→
	→



2010	2011	2012	2013

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	配当年次に応じた開講率 100%
目標2	配当年次に応じた開講率 100%
目標3	配当年次に応じた開講率 100%
☆ 目標4	配当年次に応じた開講率 98.1% (3科目不開講)
目標5	配当年次に応じた開講率 100%
目標6	配当年次に応じた開講率 97.9% (2科目不開講)
備考	